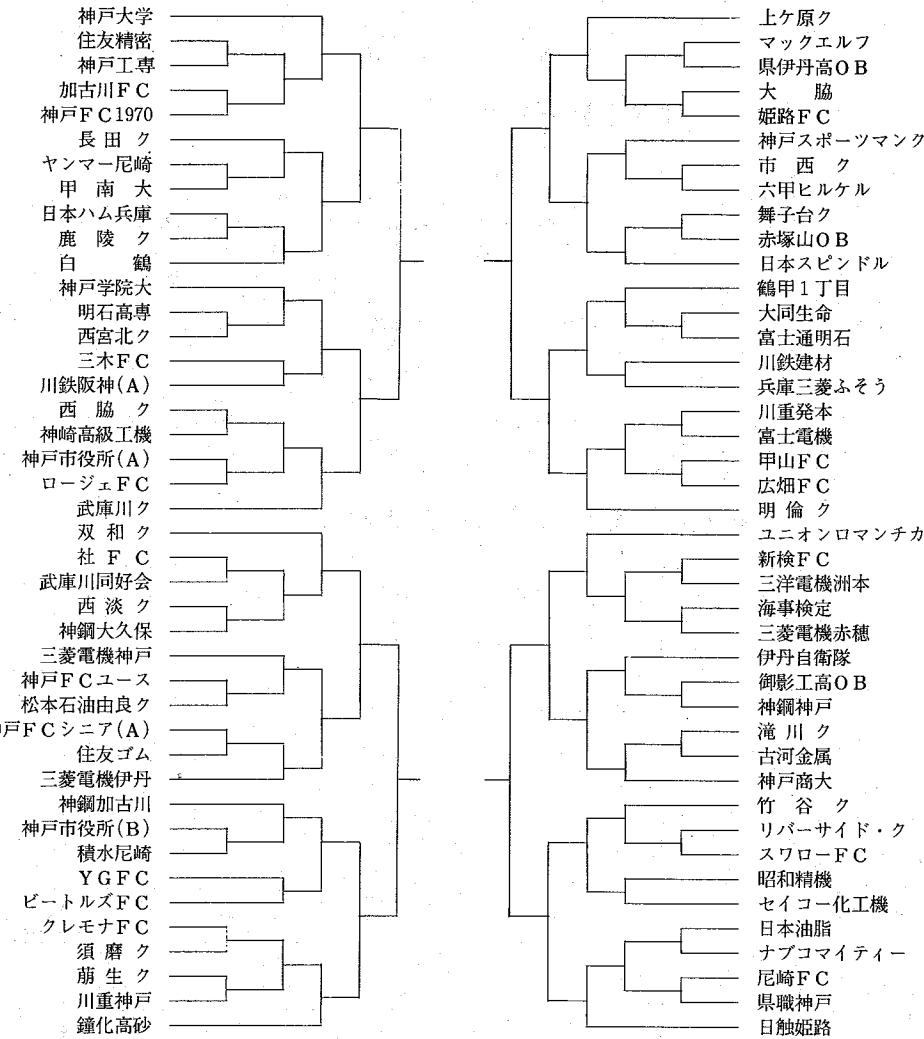


## 昭和55年度 第60回 天皇杯兵庫県予選大会



## よくやった本庄中イレブン

## —中学生新人大会—

昭和55年度の中学生サッカー界の展望を占う  
神戸市中学生新人大会が2月3日から2月17  
日まで高倉中学を主会場とし、31チームが参  
加して行われた。

技術、体力、戦力全ての面で、未熟さが目  
立つ試合が多かった。その中で、興味ある好  
試合となつたのは、本庄中対高倉中の一番だ  
ろう。剛の本庄中に対し、柔の高倉中。お互  
いのチームの持ち味を出し、勝敗も1点を争う  
緊迫したゲームであった。他に福田中、太田  
中はチームワークを遺憾なく發揮し、初のベ  
スト4に入った。決勝は本庄中対鷹匠中の両  
校の間で行われたが、本庄中が立ち上がり得意  
の速攻で3点を先取して試合を優位に展開  
した。後半鷹匠中も自力を發揮し、1点を返  
したが、力及ばず本庄中の前に屈した。

## 関正スポーツ

東灘区住吉宮町4丁目6-13 ☎ 078(821)8449  
国鉄住吉駅南側西へ20m

## 灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎ 078(861)4671  
市バス水道筋6丁目上がる100m東側

## 塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎ 078(576)0870  
バンドウ化學南

## MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎ 078(391)0895  
プレザーショップ、トアロード店 ☎ 078(391)0896  
神戸・新開地店 ☎ 078(575)7688

## ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎ 078(453)2186  
阪神深江駅北側信号西

## オウビ

葺合区琴緒町4丁目7 ☎ 078(242)3667  
国鉄三宮駅北側神戸経理専門学校斜め前(田上ビル1階)

## スメラ

湊川店 湊川プラザ2階  
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎ 078(511)2234  
☎ 078(592)0470

## 加茂トアロード店

生田区三宮町3-2 ☎ 078(392)0234  
国鉄元町駅南側東へ100m

## スポーツワールド33

生田区三宮町2丁目1 ☎ 078(332)7332  
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

## マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目4-6 ☎ 078(841)8811  
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

## 西日本OB神戸大会

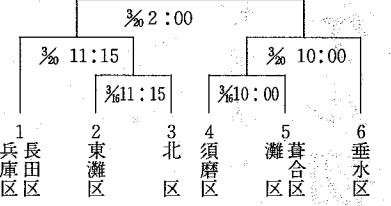
## 香港・上海訪問チーム壮行試合

来る3月16日、神戸市立中央球技場で西日本OB神戸大会(主催西日本OBサッカーリ連盟・26チーム会員900人)が行われ、次の各地のOBが集い技を競う。  
金沢、信州、富山、岐阜、岡山、枚方、交野、ユニオンロマンチカ、と地元神戸  
なお、神戸FCのユースチーム(高校生年齢)・レディースチームと少年チーム1年51名は4月31日から7日まで香港へ、西日本OB連盟の元老A、B2チーム(A60歳以上、B50歳以上)1行34名は4月24日から29日まで上海へ親善試合に赴くので、次の壮行試合をこの大会中に行う。  
上海行元老B対香港行KFCレディース11:10~上海行元老A対西日本長老12:10~  
香港行KFCユース対KFC代表14:20~

## 初の中1トレセン大会

昨年9月に行われた中学2年生の区選抜大会に引き続き、地域サッカーのレベルアップ拡大を図るために、今回は中学1年生の大会を開催することになりました。  
3月16日、3月20日の2日間、優秀選手の発掘を目的とし、選手の指導強化をするなかで、各地区さらに神戸市全体のレベル向上をめざし開催されます。  
大会をめざしての各区指導関係のより一層の選手強化をはかられることを期待しています。(森本)

とき 55年3月16日、17日  
ところ 竜ヶ台中学校



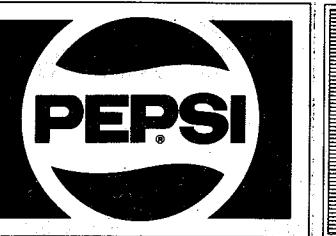
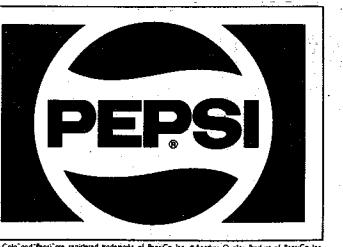
\* 尚16日(日)は会場校体育館で公立高校受験のための事前指導が行なわれていますので、配慮をお願いします。

## 個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒657 神戸市葺合区八幡通2-5磯上公園  
神戸市サッカー協会 ☎ 078-232-0753

なお、数人まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



1980 3月号

発行所 神戸市サッカー協会  
神戸市葺合区八幡通2-5磯上公園  
〒657 ☎ (078)232-0753  
発行人および編集人 加藤 正信  
神戸市灘区上野通6丁目3-12  
〒657 ☎ (078)861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部30円

# 御影工高初の三連覇

## 健闘県西宮が二位 = 県高校新人戦 =

県高校新人サッカー大会は2月10日から始まり、実力の接近した好試合が多く55年の兵庫県高校サッカーのレベルアップへの光明を見い出せそうな大会であった。

決勝戦は2月24日午後1時から神戸中央球技場で御影工高対県西宮高の対戦となった。

御影工高は立上りから好調な動きで優勢に試合を進めた。7分八木のドリブルシュートで先制し20分にも右から井若が持ち込みセンターリング、三好がボレーで左すみに決めて2点をリードして前半を終り、後半にも再度井若のセンターリングを三好が決めて3対0とし県西宮の反撃を完封して新人大会史上初の三連覇をかぎった。

三位は県芦屋高と準決勝で御影工高に2対2の引き分けでPK戦で涙を飲んだ伊丹北高となつた。又決勝戦に先立って行われた5位決定戦は志知高が飾磨高に終了1分前、劇的な逆転勝利を収めた。

御影工高、県西宮高、県芦屋高、伊丹北高、志知高の5校は3月22日から25日まで奈良県天理市で行われる近畿高校サッカー選手権大会に出場する。

今大会は神戸地区代表1位の御影工高2位

の東灘高、阪神地区1位の伊丹北高が前評判

が高かったが、東灘高は社高に2回戦で敗れたため、御影工高と伊丹北高の準決勝が事実上の決勝戦とも言える好試合となつた。

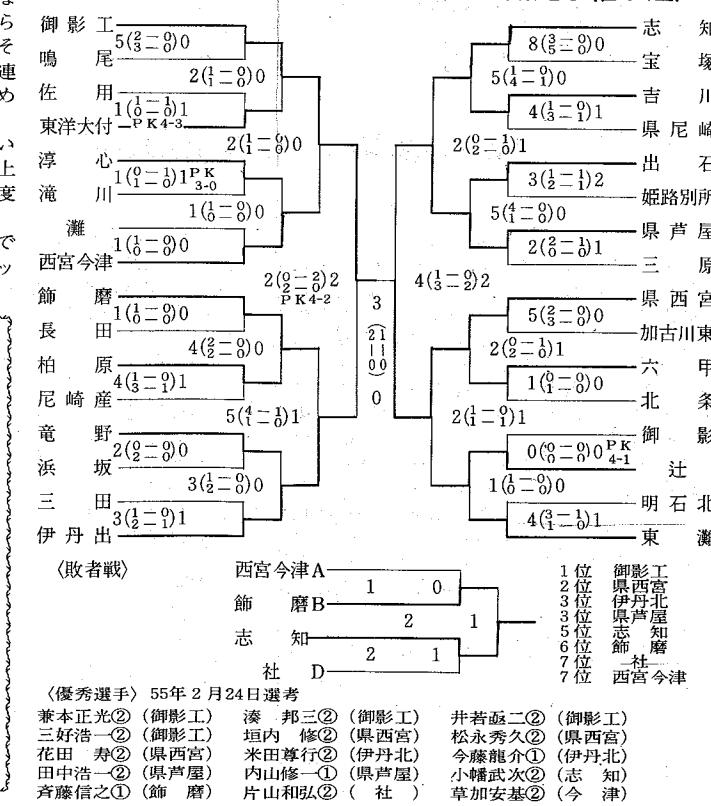
ボールテクニックにすぐれた御影工高も伊丹北高のゴール前まで攻め込むがチャンスをものにできず逆に伊丹北高の速攻から前半2点を失なつた。しかし、後半御影工高は猛反逆し、PKを決めて2対1としさらに攻めつけて29分に三好のドリブルシュートで2対2の同点とした。その後も懸命に攻めたが決勝点をうばえず引き分け、PK方式は伊丹北が連続2人の失敗に対し御影は3人連続決めて結局4-2で決勝進出を決めた。

3位に入った県芦屋は、大会前の予想ではあまり高い評価は受けていなかったが初戦の三原高を苦戦の末2対1と逆転勝利し、以後調子を上げて準々決勝でも志知高を2対1と破り準決勝に進出し、県西宮に一度は2対1と逆転したが、地力にまさる県西に4-2と破れた。

ベストフォーマー以外のチームでは、東灘高を破った社高、5位決定戦で志知高に無念の逆転負けの飾磨高をはじめ阪神地区以外でのレベルアップがはっきり見られた。



## 昭和54年度兵庫県高等学校新人サッカー大会 (兼近畿選手権予選)



# サッカー王国 兵庫の再建策を語る

…今何をわれわれは始めるのか… —その2—

「今何かをしなければ、ますます世界のサッカーから取り残される日本サッカー。」その日本の中でも全国に通用しないと頭を悩ませる兵庫の指導者。現状をよく理解しながら、問題点をさぐり、今こそ思い切った方針を打ち出さなくてはと、思うのは考えすぎだろうか。前号に引き続き、1月20日(日)壇上スポーツ会館でのようを掲載いたしました。

この座談会につきまして皆様からの率直なご意見を編集委員会ではお待ちしております。ぜひお寄せ下さい。(宛先神戸市サッカー協会、葺合区八幡通2-1-10)

出席者(敬称略)

一北四郎(市協会理事長) 岡本隆英(市技術委員) 五島祐治郎(市大学委員) 山田仁彦(東灘高校教諭) 前本勇二郎(市中学委員) 桜井研二(市少年委員) 加藤寛(神戸フットボールクラブ職員)  
なお、編集は、編集委員(橋本・松下)が担当いたしました。



## ⑦ 選手育成につながるリーグ戦

司会 全国的にみて神戸にしかない法人組織神戸フットボールクラブの専任指導者である加藤さんは、社会体育として幼・小・中・高・社会人といったサッカーマンを指導しておられるのですが神戸、兵庫のサッカーを強くするためにどんなことが必要なのでしょうか。

加藤 K. F. C. は社会体育クラブなので中体連・高体連などの運営する試合には出場できませんが、サッカー協会が主催する試合には出場でき、小・中学校チームと試合が出来、指導の効果を測定できます。

一北 K. F. C. は、学校でサッカーチームのない児童、生徒が参加し、少年サッカーの低め拡大と埋もれた人材を育成することで協会にとってみて大変ありがたい存在です。

加藤 大会全般みると指導者がそれぞれのチームに大会の目的、趣旨をはつきり把握させリーグ戦にするか、トーナメントにするのか等大会のあり方を再検討する必要があります。

五島 リーグは選手養成には良いのですが現在の大会のほとんどがトーナメントなので一勝負というところに魅力があるわけです。しかし、小・中・高などどうしても落ちこぼしが多く見られるので、一次リーグをやり2次は数校でトーナメントを採用すれば実力のあるチームが残るのではないかと思います。

## ⑧ 各年代で強調すべき指導ポイントは

一北 全国大会に出場するのでといった気迫のあるチームが20、30校あれば強くなるでしょう。何事も同じですが、選手個人の自確の問題であつて自分はサッカーが好きなのだといったサッカーの魅力にとことん突っ込んでやる選手が少なくなった。又、サッカーの魅力を知って指導する指導者が少ないのではないかですか。私達の高校、大学時代には先輩が大勢指導してくれました。悪い先輩もいましたが、近頃先輩の指導が少ないです。

五島 選手育成方法には、ステップレーヤーを呼んでいっしょに練習をし何か一つの良いプレーを吸収し、いざねば将来はといつた夢をもたせることも必要です。東京などはその意図のもとに大学生や社会人と試合をするわけです。

加藤 指導者は将来子どもたちにどんなサッカーをさせようとしているのかが問題です。小・中・高と発育発達にあった指導方法が大切です。スピードはいつも要求されるのですが、状況判断の速さは中学生でやらなければ高校でそれを身につけようと思えば時間的口数が多くむずかしいです。

私は、小学生はボールコントロール、中学生は小人数のつまり1対1、2対2といったグループ戦術が大切です。このように段階的に指導しなければサッカーセンスが育ちにくいですね。

小・中・高すべて全国大会で負けるのはスピードがないからだとして十把一からげにいふのは間違いだと思います。スピード以外に何か欠けているところがあるのではないか。

一北 相手の弱点をつくプレーを小・中学生に教えておけばよいのだが。高校生でも実力はあるが試合となれば100パーセントの力を發揮できない選手がいる。選手が悪いのか、指導者が悪いのか。

五島 ゲーム中におけるスピード、パス、読みといったことがすべて監督の思う通り展開できるチームが理想なのですが。今年の帝京などはまさに理想通りのチームでした。

一北 高校生でもボールコントロールがいかに確実に出来るかによって差がつきます。

技ですよ。技が体力・スピードをかわします。サッカーを知ろうとして選手と共に考えることから指導者と選手の意思が統一され、試合に生きてくれるわけです。

## ⑨ 私の提案

司会 最後に神戸・兵庫のサッカーを強くする結論は――。

### その1 攻撃的サッカー

山田 東灘高校の場合、選手一人ひとりの自確と共に積極的な攻撃のサッカーを指導したい。それには精神面からスピード、試合根性といった要素をたたき込んで全国に通用するチームをつくり全国優勝を成し遂げたいです。

### その2 誰にでもできる

桜井 小学校の場合は、サッカーチームに入った者は一人も辞めさせないように指導すること。運動神経の劣る子供でも卒業するまでやれば見違えるような素晴らしい子供に成長しています。ここにやはり教育というか、統けてやることの大切さが身にしみて理解できます。

五島 リーグは選手養成には良いのですが現在の大会のほとんどがトーナメントなので一勝負というところに魅力があるわけです。しかし、小・中・高などどうしても落ちこぼしが多く見られるので、一次リーグをやり2次は数校でトーナメントを採用すれば実力のあるチームが残るのではないかと思います。

### その3 発想の転換

前本 我々の高校時代は神戸・関学といったチームは確かに強かった。全国大会、西日本大会で優勝したりしました。そこで乱暴な意見ですが――。

一つは、選抜大会の指導者としてやってきましたが選抜大会はない方が良い。理由は、金、時間、エネルギーを食うし選手はテンションになる。現在のまま選抜大会を続ける場合はフェスティバルにし、参加選手の門戸をもつと開放し、サッカーに眞面目に取り組んでいる、やる気のある選手を出場させたいですね。

二つは、サッカーの指導に専念できるよう配慮してほしいです。ここにお集りのみなさんも同じでしょうが――。審判、役員会等…チームづくりに専念できません。

三つめは、高校などは選手をスカウトして強い学校にしなければダメです。にくまれてもよいから強い選手を集めて指導しなければ他府県にもっと大きな差をつけられますよ。

四つめは、素人の指導者を望みます。サッカーを知っている指導者は理論が先走り選手の良い芽をつんでいることが多いです。素人の場合、選手のやりたいことをどんどんやらせ各選手の特徴を伸ばします。又、サッカーを知ろうとして選手と共に考えることから指導者と選手の意思が統一され、試合に生きてくれるわけです。

五つめは、金をどーんと指導者個人の裁量で使えといった対策が必要です。  
一北 帝京の指導者(小沼氏)はサッカー経験ゼロです。地道な積上げによって今や理論的にも戦術的にも立派な指導者です。  
高校、中学校でも同じですが、定期戦を組んでライバルをつくることです。

### その4 自主性を生むクラブ

加藤 私も前本さんと同感です。中学校の選抜大会は付け焼き刃的な選手育成であって選手が死んでしまいます。上手な一部の選手だけをレベルアップすることは今のところ不経済的で、非能率的です。選手育成の幅を広げると底辺が拡大して自然にレベルアップにつながるのではないかでしょうか。

K. F. C. は兵庫・神戸のサッカーを強くするために幼・小・中・高・大人といった組織が結成されたのだから、なんとか設立趣旨にそって神戸・兵庫のサッカーを強くしたいですね。幼児から大人までやる気のある選手を送つてほしいです。

ワールドユースがすんだ時、日本協会の指導者から「今のが学校体育のみにたよった選手作りの体制では日本サッカーはダメだ」という反省が出されています。365日間鍛えた選手が決勝リーグに進出できなかったのですから。

協会で社会体育クラブチームが増えるよう

に指導してほしいですね。クラブチームの良いところは無理なく選手に自主性が生まれるところです。小・中・高・大学といった一貫指導も大切ですが自主性のある選手は伸びますね。サッカーのやる気をどこで發揮させて

### その5 情熱を持って――

岡本 高校では、ボールコントロールが少しごろり苦手でも根生のある、性格のよい選手が欲しいです。相手と競い合った時に根生・性格がるのでいくら上手な選手でも技術でカバーのできない弱点が出で負けるといった場合が目にできます。

五島 入試等でいくら指導者ががんばってみても限度があるのですから、トレード、スカウトといった方法を検討しなければならないでしょう。

K. F. C. では、計画された指導内容できました指導者により指導されるのですからもっと強いチームが近い将来誕生するものと期

待しています。

一北 日本サッカーは、正月の天皇杯、高校選手権といった大会で国内の主な試合は終了するのですが、神戸・兵庫のサッカー界をリードし、全国レベルに達するためには、もっと若い指導者が野心をもって小・中・高生の指導に当たってほしいです。

今年の東灘高校の山田先生がやったのだから僕もやれるといった若い、がむしゃらな指導者の出現を期待しますね。

特に小学生、中学生には、夢や野心をもつた選手をサッカーを通じて育ててほしいですね。

## なげくばかりが脳ではない!!

司会 今までの話を聞いていますと、現在の神戸・兵庫のサッカーは昔の栄光の名に陰れ、惨たんたる状況にあるのではないかと悲しくなります。今日出席していただいた指導

者はもちろん、サッカーの好きなみなさん、今後とも神戸・兵庫のサッカーを強くするため今まで以上のご指導、ご助言をお願いいたします。

昭和54年度神戸市社会人リーグは、昨年5月3日より開幕し、約350もの試合を消化して2月17日無事閉幕しました。これはチーム皆様方をはじめ、各方面の方々のご協力によるものであり、紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。

さて、混戦の一部では六甲ヒルケルが昨年優勝のKFCユースに破れたもの他に取りこぼしをせず安定した力を発揮して初優勝しましたが、県リーグから陥落してきた川重神戸、葺合クラブの両チームが二部転落、入替戦出場とちよびり寂しく思われました。

二部は、近年まれに充実したプレーが見られた中、Aブロックは兵庫朝鮮がチームの若返りをはかり、ひびきに優勝し、一部に帰り咲きました。Bブロックは川重西神戸が圧倒的強さで優勝し、念願の一部入りを果しました。

三部は上位を目指すチーム、サッカーを楽しむチームなどいろいろなチームが混在しているため棄権も多く激戦ブロックと楽なブロックがありましたが、関電神戸、兵庫T.C.、ホワイトソックス、ピートルズF.C.、神大医学部、住友ゴム、Y.G.F.C.、F.C.78が二部に昇格しました。

ところで、大所帯になったこのリーグを運営していくには、学校のグラウンドが借用できなければまったくスケジュールをこなせないので現状で、学校関係の方々にはその点をよく理解いただき積極的にグラウンド開放に協力して下さい、心より感謝しております。ただ一方で少数のチームが、せっかくのご好意に反する態度が見られたことは残念なりません。今後一層のご協力をお願いします。(一北保)

順位表

順位